

カンガルーシップ活動 共生プロジェクト 実施報告書

報告日	平成 29 年 12 月 18 日
主管学校名	京都教育大学附属幼稚園
P T A 会長名	北野 貴之

実施概要	主管校	京都教育大学附属幼稚園
	交流校	京都教育大学附属特別支援学校
	実施活動名	5 歳児 親子園外保育
	実施日時	平成 29 年 11 月 9 日
	実施場所	京都教育大学附属特別支援学校
	実施目的	自然豊かな特別支援学校を訪問し、特別支援学校の存在を知り、支援学校の子供達が作ってくれたクッキーをいただき交流をはかる。
	実施内容	特別支援学校の豊かな自然を親子で楽しみ、その後特別支援学校の子供たちが作ってくれたクッキーをいただく。
	実施方法	幼稚園の遠足にて特別支援学校を訪れ、支援学校生徒手作りのお菓子を皆でいただく。
参加人数	京都教育大学附属幼稚園年長児と保護者 55 組 京都教育大学附属特別支援学校高等部生徒・両教職員	

報告事項	内容	<p>園児たちは支援学校の自然いっぱいの竹やぶや山に登ったり、遊具でたくさん遊ばせていただきました。カリンの木から実をとらせていただき、お土産にいただきました。</p> <p>保護者は途中、副校長先生より学校の歴史や、障害のある児童・生徒への教育の場面のスライドで副校長先生が加えられたお話には園児への接し方、見守り方など、子育てに通じることもたくさんありました。</p> <p>学部重点目標 小学部「のびのびとした自己表現ができ、意欲的に活動できる子供を育てる」 中学部「中学生としての自覚を持ち、他人にたよらず最後までやりぬく意欲を高め、個人の特性を重んじ、互いに理解し合う社会化された個性を育てる」 高等部「心身の調和的発達をはかり、青年中期の生活を充実させるとともに、勤労意欲と職業生活や家庭生活の自立に生かせる個性を育てる」</p>
	結果	<p>支援学校で頑張っている子供達への理解が深まるとともに、園児の成長にも思いが至りました。</p> <p>高等部の食品加工班の生徒さんが作ってくださったクッキーをいただきました。</p> <p>支援学校の生徒さんが、将来にわたって社会生活に必要な日常生活習慣を確立し、自立した生活が送れ、場にふさわしい対人関係を持てるなど、学ばれていることが理解できてとてもよかったですと思います。</p>
	所感	<p>手作りクッキーは子供たちの好きなウサギの形にくださり、とても可愛いらしいものでした。アレルギーのある子供にも、アレルギー対応をした手作りクッキーを作ってください、すべての園児が喜び、親子でおいしくいただきました。</p>

添付書類	6 枚
------	-----



カンガルーシップ活動

共生プロジェクト参加感想

提出日 平成 29 年 12 月 18 日

学校名 京都教育大学附属幼稚園

- ・かわいいうさぎのクッキーで子供たちも喜んで美味しくいただきました。
- ・アレルギーのある子供にも個別対応したクッキーを作っていただきうれしかったです。
- ・自然豊かな環境で学ばれていて、遊ばせていただく機会をいただいてうれしく思いました。
- ・副校長先生からのお話を聞かせていただき、障害のある子どもに関する制度の移り変わりについて学ぶよい機会になりました。
- ・これからも支援学校の生徒さんとの交流が続けばいいなと思いました。

カンガルーシップ活動 共生プロジェクト参加感想

提出日	平成 29 年 12 月 18 日
学校名	京都教育大学附属幼稚園
学年	

- ・クッキーがウサギの形をしていて可愛かった。
- ・クッキーがとてもおいしかった。
- ・竹やぶの山に登るのが楽しかった。
- ・歩いていくのが遠かったけれど、楽しかった。
- ・カリンをお土産にもらって帰れてうれしかった。
- ・また遊びに行きたい。